



コアラの飼育技術向上へ意見交換



▲コアラ飼育の研究発表をするイングランドの丘の小口さん

コアラを飼育している全国の動物園関係者と大学研究者らが集まり、情報交換を行う「第二十四回コアラ会議」が、七月四日と五日、サンライズ淡路などで開かれました。会議には全国九か所の飼育施設のうち八施設から約三十人が参加。世界の珍獣といわれて久しいコアラは、ストレスに弱く、デリケートで飼育が難しい動物です。各施設で

も高齢化が進み繁殖率が落ちています。

会議ではその現状を踏まえ、飼育技術の向上を目指して、各施設から具体例を挙げて研究成果を報告。またお互い熱心に意見を交わしあっていました。

現在、全国で六十三頭のコアラがいますが、そのうち六頭がイングランドの丘で飼育されています。

社会を明るくする運動

犯罪や非行のない明るい社会を

非行少年の更生保護に取り組む保護司や更生保護女性会、BBS会らで組織する「社会を明るくする運動南あわじ市実施委員会（委員長、中田勝久市長）」では、七月、市内の量販店などで非行防止を呼びかけるPRチラシ等二千八百枚を配布しました。

この運動は、法務省が提唱する全国的な取り組み。将来の日本を担う、青少年が罪を犯したり、非行に走ったりし

ないよう、「社会全体で青少年を温かく育んでいきましょう」と呼びかけています。

南あわじ警察署によると、昨年南あわじ市で検挙・補導された少年は五十四人で、前年に比べ七人減少しています。

関係者からは「非行防止には、家族または友人、地域の隣人等との良い人間関係の絆を築くことが大切です」と呼びかけていました。



▲量販店でチラシ等を配る委員

子育て応援シンボルキャラクター誕生



▲ゆめるん

を生み育てることができる地域社会をめざすメッセージを発信し、親しみのある子育て応援のイメージづくりのために公募しました。

七月十三日開かれた選定委



▲中高生も入って真剣に選定する委員

愛称は「ゆめるん」に

員会（谷口紘也委員長、七人）には、子育て中の母親や高校、中学校の生徒も参加。幅広い世代の目から作品の選定を行いました。選ばれたキャラクターと愛称は、今後、市の印刷物や封筒などに掲載するなど幅広く活用する予定です。

市内外からシンボルキャラクター百十九点、愛称百三十点もの応募がありました。入賞作品は次のとおり。（敬称略）「シンボルキャラクター」採用作品 松本ひろみ（赤穂市）、佳作 前田亜耶華（福良）、杜多利夫（神戸市）

【愛称】採用作品 「ゆめるん」 柏侑里（賀集）、佳作 山内佳代（市）、水田真紀（八木）

プールで海洋スポーツを楽しむ

倭文中学校でヨット・カヌー体験

夏本番の季節を向かえマリンスポーツの楽しさを知ってもらおうと、倭文中学校のプールで、体験授業が行われました。

この授業には、総合学習のスポーツチャレンジコースを選択している三年生六人と、二年生一人が受講。

生徒は市教育委員会のインストラクターの指導のもと、六月十五日にカヌーを体験。

七月六日には、初心者用小型ヨット二艇を浮かべ、帆や舵の操作を体験。最後には上手に風をとらえ、スムーズに進み、水上を走る快感に浸っていました。



▲インストラクターの指導を受けながらヨットの操作をする生徒

ふれあい市長室

冬柴国土交通大臣との懇談より

南あわじ市長 中田勝久

暑い夏が続きますが、市民の皆様には体調管理には、くれぐれもお気をつけくださいますようお願いいたします。

さて先日、冬柴国土交通大臣と「兵庫県市長・町長要望懇談会」が開催されました。

七名の市長代表の一人に私も選ばれ、淡路地域から二点の要望をさせていただき、前向きな回答をいただきました。

一つ目は、署名等皆様方にご尽力を賜っております神戸淡路鳴門自動車道通行料金の低減化です。観光、農漁業・瓦等地域特産品の物流、企業誘致や定住などへの対応として非常に重要な要望であり、何としても実現する必要があります。

冬柴大臣からは、「地元との協力も必要であるが、現状の軽減措置の結果も踏まえつつ、物流の効率化の観点から料金社会実験を検討し、夏ごろから実験を開始する予定」とのお答えをいただきました。

まだまだ恒久的な低減化実現までには課題が多く、今後も島民・市民が団結し、より一層の魅力づくりやふるさとの高付加価値化を進めなければなりません。

二つ目は、津波・高潮対策です。福良地区を対象に国土交通省、県が中心となつて進めております福良港津波・高潮防災ステーションの整備について、「早期完成に向け支援します。知恵と工夫を活かし防災と地域振興を融合させた取組への支援を検討します。」との前向きな考え方を示していただきました。

国や県も財政難の折、要望ばかりではなかなか実現しません。地域がまともな熱意を見せながら、自らの地道な努力や工夫があれば相手にしてくれないこともあります。市民の皆様におかれましては、是非ともすばらしい「ふるさと」づくりに特段のご尽力をいただきますようお願いいたします。

神戸淡路鳴門自動車道利用促進・料金低減化を考える 第1回淡路島民フォーラム

本四道路の利用料金低減化を実現し、淡路の活性化に結びつけようと、5月に「神戸淡路鳴門自動車道利用促進淡路島民会議」を結成し、国など関係機関に対して要望活動を展開しています。



この運動の一環として、島民の意識啓発と更なる運動の盛り上げを図ることを目的に開催します。

◆日時 8月11日（土）13:30～16:30

◆場所 淡路市立しづかホール

◆内容 基調講演「世界の架橋と地域の発展」（講師：加藤恵正 兵庫県立大学教授）、現状報告、基調提言、本四道路利用促進パネルディスカッションほか

◆主催 神戸淡路鳴門自動車道利用促進淡路島民会議
園市長公室 ☎ 43-5002、淡路広域行政事務組合 ☎ 24-4770

市民フォーラム 2007 少子対策・子育て支援フォーラム

◆日時 9月8日（土）13:30～

◆場所 三原公民館 大ホール

◆内容 地域全体で結婚や子育てを支援するネットワークづくりをテーマに、基調講演やパネルディスカッション。詳細は、広報9月号でお知らせします。

園少子対策課 ☎ 44-3040

8月は道路ふれあい月間

ポイ捨て・無断の張り紙・はみ出し看板の設置など、道路を汚していませんか？道路はみんなのものです。正しく安全に使用しましょう。

国土交通省・兵庫県・南あわじ市